

手の孫のため許さぬ

安保法案 抗議の座り込み

本多邦彦監督はその年でした。やま表示で市町が1町、川上福井駒ヶ根の
会場で「座り込み行動」を始めた。戦争の記憶を持つ人は、「のまま沈黙してい
る子孫の世代に顔向けておきたい」と語った。若者達は、即興の歌を披露した。

を握った九条の金・ふくいの屋敷絃美さん(71)は「戦争への道が、70年間続いて、最後4時1分、太陽の光

いる戦後民主主義を選ぶのかが問われている」と訴えた。集まつた人は最初30人。まことに増え、最終的には60人を超えた。

多くが「戦争法案ストップ」などと書かれたプラカードを持参した。田作の「日本の宝」の条を守るのしよう! と掲げた女性(55)

ンチに座つてした男性(67)はマイクを渡され書いて書いた。「この運動は嫌いなんじゃ」。やつて「どうもこの出来事はわづのねえしこうも悪い。将来、孫のから『おじいちゃん、あの時何が意思表示をしたのか』と聞かれたらいふねやがながり『したも

関俊雄は(85)、「お嘗にむかひおひ玉に修らひあし」と。子や孫に「じごわいやん、よくがんばつたね」と言われるより無いを感ずる。じょりこがんぱりた」と。子と孫が計8人いるといふ男性(65)は「孫四郎が、その彼氏が戦争に取られた大変なことだ。」

慈志さん(22)が、座り込み闇始直後に続いて再びギターの即興歌を披露した。

「戦争になつたの、ギターも弾いてられない／戦争になつたら、歌も歌つてられない／おれおれイチャイヤもしかれなし

通の過ちでいく高校生に呼びかねるのに歌い、反応があると「ありがとう」。夏休み中の川野さんは現在、各地を旅行中だ。大阪であった若者の反安保法制の集まりに参加したから、ついにこた福井県出身

者と知り合ひとなり、やの
縁で13日から福井市に遊び
に来ている。

午後4時40分 初者の男
性が「せかやいの」と連呼
しながら参加者に毒いべ。
話を聞くのとしながら、「口
本家の出いこか」と書いつば
からで立ち去つた。

午後の時 ある参加者は
「憲法を守れい」とマイク
アピールを続け、三野さん
も歌い続けた。誰もが参加
であの座り込みは18時半ば
続く。



「ストップ！ 安保法制」を一斉に掲げる
座り込み参加者＝JR福井駅東側の広場

一方、平和憲法を未来につなぐ農民の会メンバーで、この日の司会を務めた宮下正一さん(68)は、「戦争に反対しなかったことを親の世代に聞いたたました」と振り返り、「今は自分たちが問われる番になつたとして、『がんばれば必ずや廢案に追い込める』と語つた。午後4時31分　日が傾いて広場全体が日陰になつた。「強行採決を許さない」と書かれた垂れ幕が風にぼたぼたと揺れる。

鬼怒川決壊 災害ボランティアバス

台風18号の被害を受けた茨城県常総市に向けて、県は15日夜から、災害ボランティアバスを運行する。16~18日に活動してもらう。

茨城

第1班は15日午後10時に県庁を出発。敦賀インター駐車場で嶺南の参加者を乗せた後、16日午前8時半ごろに現地に至る。午後4時ごろまで活動して帰路につき、17日午前1時ごろに県庁に着く行程。第2班は16日、第3班は17日にそれぞれ同じ時間に出発する。

活動内容は、被災家屋のがれきの除去や壊れた家財の撤去、泥のかき出しや清掃、側溝の泥だし、土砂の土囊詰めなど

に向けて、県は15日後から、災害ボランティアバスを運行する。16~18日に活動してもらう。

第1班は15日午後10時に県庁を出発。敦賀インター駐車場で嶺南の参加者を乗せた後、16日午前8時半ごろに現地に至る。午後4時ごろまで活動して帰路につき、17日午前1時ごろに県庁に着く行程。第2班は16日、第3班は17日にそれぞれ同じ時間に出発する。

活動内容は、被災家屋のがれきの除去や壊れた家財の撤去、泥のかき出しや清掃、側溝の泥だし、土砂の土囊詰めなど

鬼怒川決壊 災害ボランティア募集

ど。作業ができる服装とスコップやほうき、ゴミ袋などの用具や食事は各自が用意する。募集人数は各班40人。県庁から乗車の場合は午後9時45分までに、敦賀インターから乗車の場合は午後10時40分までに集合する。

申し込みは出発日の午後3時までに住所、氏名、年齢、参加希望班、乗車場所、携帯電話の番号を、県女性活躍推進課内の県災害ボランティアセンター連絡会（電話＝0776・20・0319、ファクス＝0776・20・0632、メール＝joseikatuya@pref.fukui.lg.jp）へ申し込む。問い合わせも連絡会へ。（堀川敬部）

芳坂・常緑市へバス運行